

2024年度 すくわくプログラム実践記録

園名：おうち保育園おおいまち

保育理念

わたしたち保育園は、みんなの未来をつくることに
自ら参加し、貢献し、そして楽しむ心を育みます。

保育目標



共感性

自分の気持ちを大切にし
他者の気持ちも大切にす
るこども



内発性

自らの内なる声を聞き
主体的に動くこども



創造性

自由に考え
創造するこども

シチズンシップ保育5つの基本



1, 活動のテーマ

<テーマ（こどもたちの興味・関心を深める）>

深海に住む生き物、深海そのもの

<テーマの設定理由（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）>

品川区は海が近い、園の近くに水族館がある。
海の生き物が好きな園児から他児にも興味が広がる
「どんな生き物がいるの？」 「どんなところなの？」

2, 活動スケジュール

- ・深海に住む生き物の本にふれながら、保育士や友だちといっしょに種類や特性を語り合う。
- ・ポスターを見ながら児の感じたことを言葉で伝える→どういうことをしたいか、興味がどこにあるかをさらに深ぼる
- ・実際に海の生き物を作品で表現してみる（おえかき、粘土遊びなど）
- ・海の生きものを実際にさわってみる（タコやイカ、魚など）
- ・海（深海）を見ることができる場所に行く（しながわ水族館への遠足）
- ・海（深海）を体験してみよう（室内で暗さを体験してみる）

【実践記録】

日付	2024/10/15
「問い」 ・テーマに関するこどもたちの考えや、聞き出すための問い	書籍やポスターを通して「大きさ」「色」「自身の環境との比較」を問う
環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定	・図鑑、ポスター ・園内壁面に海中を再現（ビニールなどを使用） ・保育者によるダイオウイカの壁面作品（画用紙などを使用）
探究活動 ・活動中のこどもの姿、声、こども同士やスタッフとの関わり等。	・思い思いに図鑑を選び、「これはねー〇〇なんだよ」という児の言葉に他児も「じゃあこれは？」と問う。 正解、不正解というより、会話を楽しみながら図鑑を見ている。 図鑑のカバーに関連する書籍があると「これも見たい！」と他の書籍にはどんな情報があるのか、と興味を深める姿がある。 ・比較的、興味が薄いのではないかと思われる児も「〇〇みたい」と見立ての言葉や「～ちゃんの好きなピンク色だね」と声

	<p>をかけるとその色の生き物を探し始めたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「海の深いところは暗いんだって」と声がけすると午睡時に「ここのお部屋は海の中みたいだねー」と話す児もいた。
<p>活動の様子（写真・映像）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが夢中で取り組んでいる姿や、学びの瞬間をとらえた写真、こどもの作品など（公開OKのもの2枚以上） 	
<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通してきづいたこと、こどものブーム ・夢中になっていること ・こどもの思いや学びの考察 ・保育者の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・そもそものテーマは「深海にすむ生き物」だったが、当然のことながら実際に見る機会はないので、どうしても図鑑やポスターからの導入になってしまった。が、そこから他の種類の図鑑や生き物へ興味が広がり、「図鑑をみる」ことがそれぞれ楽しみや興味につながってきている。 ・「深海生物」への興味が強い児、そうでない児もいるが、アプローチによりそれぞれが興味を持っている。「大きさ」「形」の概念の基礎を知ったり、「色」への興味が深まる児もいた。「イカのピンクー！」（←実際はピンクではないが、ピンク色に描いた絵本のイラストを見た児の発言）「大きいもの」を表現するときに「ダイオウイカみたいに大きいね」「リュウグウノツカイみたいに長いね」など。 ・0～2歳児の特性上、一つのテーマを掘り下げるには限界があるが、そこから他視点への興味の広がりやむしろ大きいと感じた。（「深さ」より「広がり」というイメージ） ・話がそれたり、興味が別のものであると思っても無理に「深海」に戻さず、児のその時の興味を大切にしたいとも感じる。

<p>日付</p>	<p>2024/12/19</p>
<p>「問い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関するこどもたちの考えや、聞き出すための問い 	<p>（お絵かき、粘土などの作品を通して自由な表現活動を促しながら）「どんな形してるかな」「どんな大きさかな」「どうしたらこんな形になるのかな」「何色だと思う？」</p>
<p>環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定</p>	<p>画用紙、絵の具、クレヨン、マジックなど 粘土、</p>
<p>探究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中のこどもの姿 	<p>「〇〇つくる！」と目的を持って取り組む児、目的から気持ちがかわる児、「カニ描いて」と保育者が提示するテーマに沿ってお絵かきを楽しむ児など様々。もともと、創作活動を好む・</p>

<p>、声、こども同士やスタッフとの関わり 等。</p>	<p>好まない児によって取り組みへの興味の深度は違うものの、様々なアプローチを試みた。 友だちどうして「これ〇〇！」と見せ合う楽しさ、2歳児が楽しむ姿を見て真似をしたがる1歳児など様々。 スタッフは「上手にできたね」という言葉よりも「〇〇なんだね」とそのものを認めるにとどめるよう心がけた。</p>
<p>活動の様子（写真・映像） ・こどもが夢中で取り組んでいる姿や、学びの瞬間をとらえた写真、こどもの作品など（公開OKのもの2枚以上）</p>	
<p>振り返り ・活動を通してきづいたこと、こどものブーム ・夢中になっていること ・こどもの思いや学びの考察 ・保育者の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的としては「海の生き物を作ってみよう」ではあるが、年齢の特性上、決まった作品を作るということには限界があるため、一応のテーマを伝えつつ、「自身の中で思い浮かべるものを再現して楽しむ」「作ろうと思っていたものから興味の方向性が違ったが、創作活動の楽しさを味わっている」ところを観察した。 ・粘土遊びは海の生き物の再現にかかわらず、特に2歳児の間でブームが続いた。 ・引き続き、図鑑や絵本などを通しての探求活動は続いている。その中で「たくさん」「〇匹」「〇メートル」など数への興味、また「いかの”い”！」など文字への関心も出てきている児もいるので今後の活動に少しずつ盛り込んでいければと思っている。

<p>日付</p>	<p>2025/1/31</p>
<p>「問い」 ・テーマに関するこどもたちの考えや、聞き出すための問い</p>	<p>「海の生き物ってさわったらどんな感じ？」 「生き物のお腹の中ってどうなってるのかな？」 「お水の中では生きていたけど、今は動かないね」</p>
<p>環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤリイカ、アジ（タコを用意したかったが調達不可）、はまぐり、サザエなどの貝殻 調理用品（イカはワタをとり、アジは三枚おろし） ・手袋などの衛生用品（ナマモノを触るため・保護者への許可は事前にとった） ・実際に海中を泳ぐ姿を見るための映像
<p>探究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実際のイカやアジをそのままの姿を観察後、実際に海中では

<p>・活動中のこどもの姿、声、こども同士やスタッフとの関わり等。</p>	<p>どのように泳いでいるのか、などを図鑑で見たり、動画を視聴する。最初は恐る恐る触れていた児も他児が積極的に触る様子を見て問題なく触ったりしていた。 0才児や感覚過敏な児は嫌がる様子もあり、その場から離れる場面も。 その後、スタッフが包丁を用いてイカやアジの内蔵を見せると声も出せず真剣に見つめる児、顔を手で覆うなどする児もいて反応は様々。 血を見て「痛くない？」と声をかける児もいた。 イカの墨袋から墨を出して触ってみると「黒い・・・」と墨=黒いものの実感を得た表情だった</p>
<p>活動の様子（写真・映像） ・こどもが夢中で取り組んでいる姿や、学びの瞬間をとらえた写真、こどもの作品など（公開OKのもの2枚以上）</p>	
<p>振り返り ・活動を通して気づいたこと、こどものブーム ・夢中になっていること ・こどもの思いや学びの考察 ・保育者の振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イカやタコを触ることは事前に伝えていた。血が出たり調理する様子を見て泣いたり怖がる児がいるのではないかと思っていたが、1, 2歳児の参加した児は全員真剣な表情を見せていた。（特別なことが苦手な児は別室で待機していた。） ・調理した後の内蔵をつついてみたり、墨袋から出た墨を実際にさわったり、目をくりぬいた後もさわっていた様子を見て案外さわれるのだなと思った。 ・血が出ているのを見て「痛くないのかな」と発言した児は自身がケガをしたときの経験を思い出しているのかなと思った。 ・用意したイカは2はいだったが「2ひきいるね」と数を数えられる児もいる。

<p>日付</p>	<p>2025/2/19</p>
<p>「問い」 ・テーマに関するこどもたちの考えや、聞き出すための問い</p>	<p>「実際にイカやタコ、海中で泳ぐ様子がわかる場所は？」「水族館ってどんな感じかな？」「どんな大きさかな？」</p>
<p>環境のデザイン *素材や使用する道具、環境設定</p>	<p>園外活動（2歳児「しながわ水族館」遠足）</p>
<p>探究活動</p>	<p>実際に泳ぐ様子を友だちや先生といっしょに観察する。「水族</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・活動中のこどもの姿、声、こども同士やスタッフとの関わり 等。 	<p>館」という施設に初めて行く児もおり、実際に泳ぐ姿に目を奪われる児もいた。 群れになっている様子を「お友達かな」と自分たちの様子に見立てて表現する児もいた。</p>
<p>活動の様子（写真・映像）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが夢中で取り組んでいる姿や、学びの瞬間をとらえた写真、こどもの作品など（公開OKのもの2枚以上） 	
<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通してきづいたこと、こどものブーム ・夢中になっていること ・こどもの思いや学びの考察 ・保育者の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画の視聴は何度かあったが、実際に大きな水槽を泳ぐ生き物を見たことは大きな刺激になったと思う。 「この前の魚よりおーきかった！！」「1, 2, 3, 4・・・たくさんいたよ」と数を用いて表現する児が増えた。数字への興味に伴い、文字への関心を持つ児もいる（2歳児）。 ・自分たちの知識を他児に伝えようとする力が育っている。同じクラスの友だちとはともに会話を通して見たもの、聞いたものを伝え合い、魚や海の生き物がでてくる絵本を0才児に読み聞かせをしようとする。 ・「2歳児が〇〇ちゃん（0才児）はどのお魚が好きかな～」と保育者に聞いてみる→「聞いてみたら？」→「〇〇ちゃん、どれがいい？」と反応を楽しんでいる。

<p>日付</p>	<p>2025/3/</p>
<p>「問い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関するこどもたちの考えや、聞き出すための問い 	
<p>環境のデザイン</p> <p>*素材や使用する道具、環境設定</p>	
<p>探究活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動中のこどもの姿、声、こども同士やスタッフとの関わり 等。 	